vol.2
くりんちゃん

くりんちゃん通信

芦田川環境マネジメントセンターニュースレター

2006年2月

【発行・事務局】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555　広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル1F（株）エフエムふくやま内
TEL (084) 920-8777
E-mail aemc@fm777.co.jp

TOPICS 1 "あしだがわ 川の健康診断" 秋季調査を開催

芦田川とその支川の17地点において、川の景観、水質などを評価する "あしだがわ 川の健康診断" 秋季調査を平成17年10月30日（日）に開催しました。

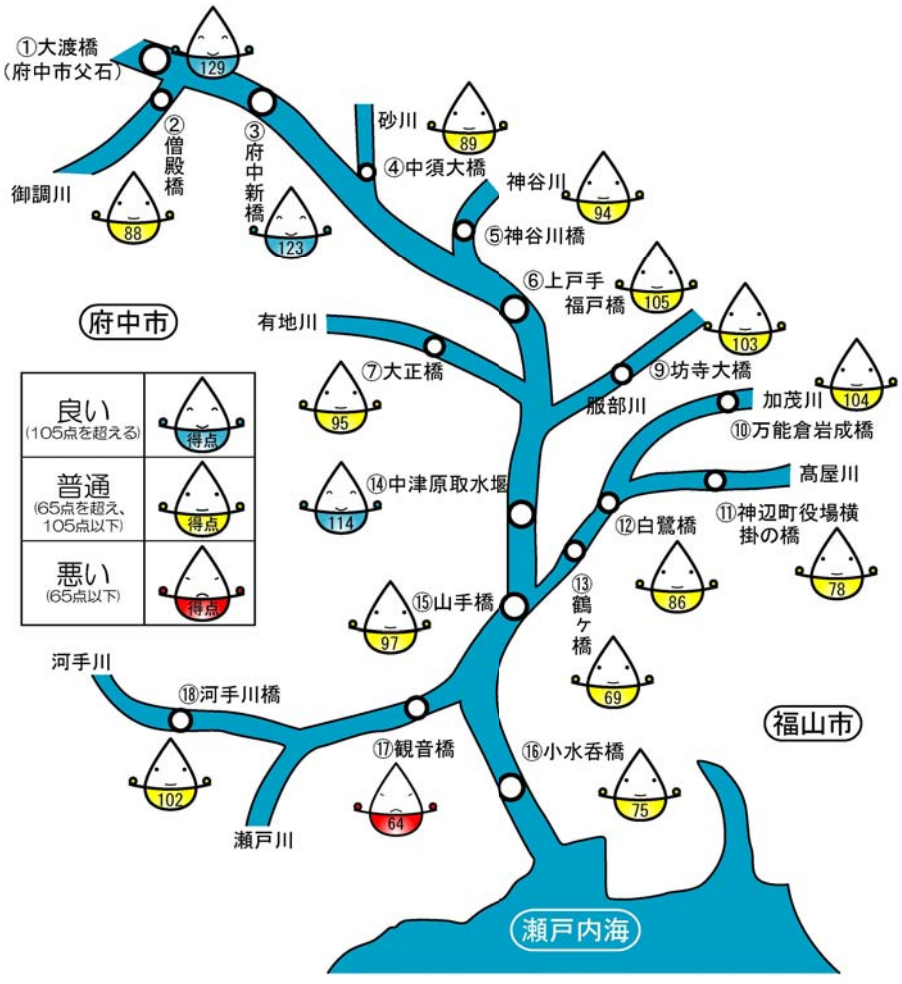
今年度は、春季調査（6月5日）と合わせ2回の開催となり、今回の調査結果を比較しながらとりまとめを行ないました。

また、昼からは、高屋川において水生植物による水質浄化のフィールド調査を実施しました。

流域にお住まいの方々、スタッフを含め総勢39名が参加し、楽しく川について学びながら調査を行ないました。

みんなで記念撮影。
うまくとれたかな？

あしだがわ「川の健康診断 秋季調査」総合評価結果



中津原取水堰地点

上位ランキング

1位 ①大渡橋（芦田川）：129点

2位 ③府中新橋（芦田川）：123点

3位 ⑭中津原（芦田川）：114点

下位ランキング

1位 ⑰観音橋（瀬戸川）：64点
2位 ⑬鶴ヶ橋（高屋川）：69点
3位 ⑦小水呑橋（芦田川）：75点

調査結果一覧表

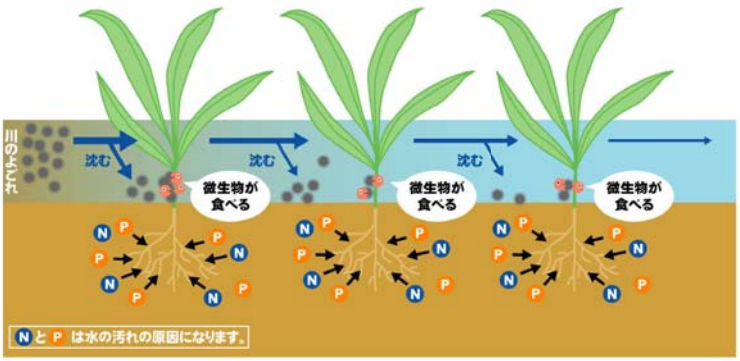
6月に実施した春季調査では、非常に水量の少ない状況もあり、総合評価が悪い地点が多くみられましたが、今回の調査では、春季調査に比べ全般的に良い評価となりました。一方、瀬戸川や高屋川など生活排水の流入する支川で評価が低い結果となりました。

河川名	調査地点	通信簿(利用･景観)	水質チェック(ﾊﾟｯｸﾃｽﾄ)	感覚チェック	総合評価			
					点数	今回順位	前回順位	評価
芦田川	①大渡橋	39	45	45	129	1↑	2	
御調川	②僧殿橋	28	30	30	88	12↓	4	
	③府中新橋	42	40	41	123	2↓	1	
砂川	④中須大橋	25	25	39	89	11↓	5	
神谷川	⑤神谷川橋	23	40	31	94	10↓	6	
	⑥上戸手福戸橋	31	35	39	105	4↑	7	
有地川	⑦大正橋	21	35	39	95	9↑	15	
服部川	⑨坊寺大橋	29	35	39	103	6↑	13	
加茂川	⑩万能倉岩成橋	28	35	41	104	5↑	9	
高屋川	⑪掛の橋	26	20	32	78	14→	14	
	⑫白鷺橋	34	20	32	86	13↑	17	
	⑬鶴ヶ橋	24	15	30	69	16→	16	
	⑭中津原	34	40	40	114	3→	3	
	⑮山手橋	34	35	28	97	8↓	7	
	⑯小水呑橋	27	20	28	75	15↓	11	
瀬戸川	⑰観音橋	23	15	26	64	17↓	11	
	⑱河手川橋	27	30	45	102	7↑	10	

※項目別のチェックは45点を満点として、合計135点満点で集計したものです。

水生植物による水質浄化　フィールド調査

芦田川見る視る館の近くを流れる高屋川下流において、水生植物による水質浄化について勉強するためのフィールド調査を行ないました。そこでは、高屋川浄化施設により浄化された水が流れる小水路があり、川底にたくさんの水生植物がみられ、この水生植物を流れる間に水質が浄化されます。　参加者は、水路の上流と下流の水を比べて、水質の違いに驚いていました。



【植物による水質浄化のしくみ】
川のよごれが、①水草にくっつく ②沈む ③微生物が分解する
④植物がよごれを栄養分にする

←水路上流
水路の底にたまった泥がまきあがり、水がにごっている

水路下流→

水は透き通っている

TOPICS 2 「あしだがわ 水辺の学び舎」を開催

芦田川流域の住民が主体的に水質環境改善に関心をもってもらう啓発活動の一環として、流域のこどもたちなどを対象とした水辺の体験学習会"あしだがわ 水辺の学び舎"を平成17年10月9日（日）に行ないました。
流域にお住まいの方々など総勢70名が参加しました。
当日は、良い天気に恵まれ、こどもたちは川に入って魚とりや虫とりなどを楽しんでいました。

＜調査の内容＞
午前の部は芦田川上流の大渡橋付近、午後の部は支川の出口川で行ないました。
現地では、参加者は実際に川に入って捕まえた生き物の名前やどういった地形や水質のところでみられるかなどを講師の先生に教えていただきながら、水辺の生き物調査や水質調査などを行ないました。

＜調査結果＞
①生き物調査
◆府中大渡橋…7種類の魚と12種類の水生生物を確認
◆出口川…11種類の魚と9種類の水生生物を確認
オイカワ、カワムツ、ムギツク、サワガニなど比較的きれいな水質にすむ生き物がたくさん見つかりました。

みんなで川をもっときれいにして、
生き物がすみやすい川にしよう！！

②水質調査
いずれの地点も透明度が高く、水質もきれいな結果となりました。
生活雑排水などの汚れの度合いを示すCOD（科学的酸素消費量）は、出口川が大渡橋に比べ若干高いものの、川の汚れ具合の目安となる亜硝酸やアオコなど富栄養化の要因となるリンなども低い値であり、良好な結果となりました。

▼調査結果をまとめた「あしだ川さかなマップ」▼

項目	地点名	
	芦田川大渡橋	出口川
調査日	10月9日	10月9日
時間	11:45	14:30
気温（℃）	24.5	26
水温（℃）	19.5	24
透明度	1m以上	1m以上
COD(mg/l)	2	4
アンモニウム体窒素(mg/l)	0.16	0.16
亜硝酸体窒素(mg/l)	0.006	0.006
硝酸体窒素(mg/l)	0.23	0.46
リン酸体リン(mg/l)	0.017	0.017

※このマップは、財団法人リバーフロント整備センター"平成17年度「川に学ぶ」活動助成"を受けて作成したものです。

▲この「あしだ川さかなマップ」は
リーフレットとして配布する予定です。

この活動は、財団法人リバーフロント整備センター
"平成17年度「川に学ぶ」活動助成を受けて実施したものです。

TOPICS 3 環法17条モニターチェック 結果速報！

身近にできる具体的な取り組みをまとめた「環法17条」を使ったモニターチェックは、流域にお住まいの皆さんが子どもから大人へ、大人から子どもへと日常生活の中で、水質浄化の取り組みを継続的に実践できるようにしていくことを目的としています。

【環法17条モニターチェック概要】

対象	福山市内の4年生のご家庭	生協ひろしま	合計
期間	平成17年 10/17～11/13	平成17年 7/1～8/31	－
配布数	約1,175件	200件	約1,375件
回収数	53件	99件	152件

モニターチェックへのご協力ありがとうございます。これからも続けていこうね。

【環法17条チェック項目】

【キッチン編】
①流しの三角コーナーや排水口にはネットを敷くなどして、調理くずや食べ残しを流さない
②鍋や食器等の汚れは紙で拭き取ってから洗う
③食用油は直接流さず、紙に染み込ませたり、固めたりして捨てる
④余ったお酒やワインなどは流さず、料理用に使う
⑤米のとぎ汁は植木や鉢植えの水やりに使う
⑥料理は余分な量を作らない。調理くずが出た時は植木や鉢植えの肥料に使う
⑦水道の水は出しっぱなしにしない
⑧アクリルタワシを使って洗剤の量を減らす

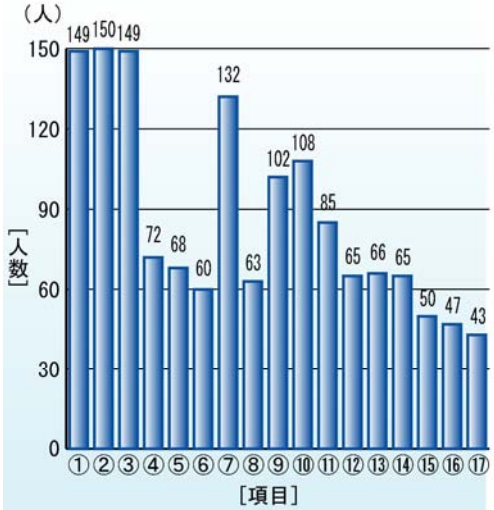
【お風呂編】
⑨シャンプー、リンスの使用はひかえめにする
⑩風呂の残り湯は、洗濯や植木・鉢植えの水やりに使う

【洗濯編】
⑪洗濯はまとめ洗いをするなどして、洗剤の量を減らす
⑫流しすすぎをひかえて、ためすすぎにする

【外出先で】
⑬山や海、川に行ったら自分のゴミは持ち帰る
⑭空き缶、タバコの投げ捨てはしない

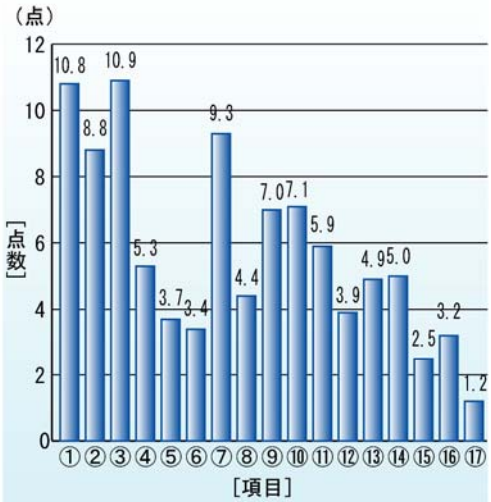
【日ごろから心がけること】
⑮環境にやさしいエコマーク商品を積極的に使用する
⑯浄化槽は定期的に点検・清掃する
⑰身近な水路や川に関心を持ち、積極的に清掃活動等に参加する

【項目別 選択人数】



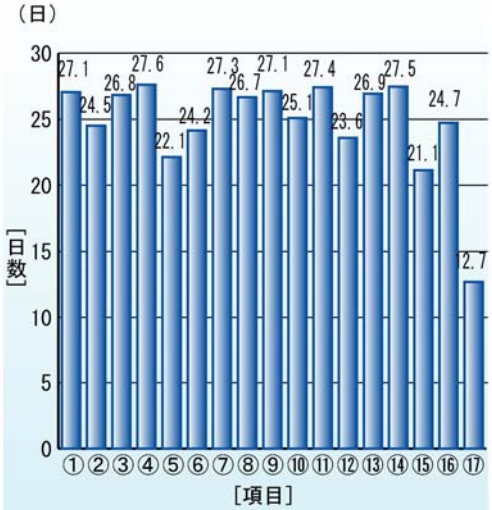
●屋外での取り組みより家庭での取り組みへの関心が高い
●米のとぎ汁や調理くずを流さないなどの取り組みの選択人数が少ない

【項目別 平均点数】



●台所での取り組みに比べ、お風呂や洗濯での取り組みの達成度が低い
●アクリルタワシを使用している家庭は少ない

【項目別 平均継続日数】



●全体的に継続して20日間以上取り組まれており、水質改善への関心は高い

【全体まとめ】
●選択人数と点数は比例している。すなわち、関心の高い項目は達成度も高い
●モニターチェック実施者のほとんどは、6項目以上を選択しており、水質改善への関心が高い

この活動は、中国建設弘済会の活動助成を受けて実施したものです。

芦田川環境マネジメントセンター会員募集中！！

芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）では、今後も芦田川の水環境をテーマにさまざまな活動の企画を予定しています。そこで、これらの活動のさらなる充実を図るため、活動に参加もしくは支援してくださる個人や団体を募集しています。 募集要項・入会申し込み書等の入手は、下記のホームページをごらんください。

http://www.fukuyama-mlit.go.jp/kasen/aemc/index.html

みなさんのご参加をお待ちしています。